

令和 7 年予算審査特別委員会
代表質問日程表

質 問 日	会 派 名	質 問 者	
3 月 1 7 日 (月) 午 前	公 明 党	1	近 藤 隆 行 議 員
	日 本 共 産 党 議 員 団	2	宮 路 敏 裕 議 員
	新 風 み ら い	3	田 澤 信 行 議 員

※質問方式は、一括方式です

令和7年予算審査特別委員会「代表質問表」

発言 の 順序	会派名 (質問者)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
1	公明党 (近藤 隆行)	1. 交流・応援(燕)人口の戦略について	(1)産業観光の振興について	①日本を訪れる富裕層の外国人を呼び込もうと、観光庁が選定するモデル観光地に去年選定された11地域に加え、2月に新たに佐渡・新潟エリアが選定された。コロナ感染症も終息した中、観光需要は拡大をしつつあるが観光地による誘客競争も激しくなっている。この度の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」選定は、大きなチャンスと考えるが当局はどのように捉えているのかを伺う。 ②燕市には、観光資源が各地に点在している。それら点と点を線・面につなぐ技量と、そこに存在している魅力を見つけ育てて行けるような人材が必要であると思うが、人材育成、人材確保についてはどのように認識しているのか伺う。 ③最近の情報通信技術の発展に伴い、多くの人にとってソーシャルメディアは身近なものとなった。特にSNSは、観光においても観光客側、観光誘致者側、双方から注目されている。情報発信の手法をどのように捉えて今後の手段としていくのか伺う。 ④着地型観光推進に向け観光協会や弥彦村との広域連携のこれまでの体制を維持・強化することは大切であるが、今後は、近隣地域との連携強化をはかることが必要と思うが、現状と新年度の連携強化を何処とどのように進めていくのか考えを伺う。
			(2)ふるさと納税について	ふるさと納税の推進による、市内経済活性化と関係人口の創出は、これまで経験したことのないありがたい成果を上げている。昨年の米騒動、物価高による影響で、食料品や米等にシフトしている傾向もあるが、今後も利用者の増加も見込める中、今年もこれまで以上に知恵と工夫で大きな成果を上げて頂きたい。 ①新年度予算の中で、様々な事業の貴重な財源として活用されていると思うが、寄附者の皆さんから頂いた寄附金が具体的にどの事業にどれだけ活用されているのか伺う。 ②ふるさと納税の返礼品は、地場産品・農作物等多岐にわたっているが、市内企業活性化にどのような影響をもたらしているのか伺う。

発言 の 順序	会派名 (質問者)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	日本共産党議員団 (宮路敏裕)	1. 行政のデジタル化について	(1) 市民あつてのデジタル行政について	①現在、市民にとっては本庁舎に出向かなくても、コンビニで住民票を取得し、健康診断の予約をウェブ申請するなど、行政手続きの利便性が図られており、国は「地方創生」の取り組みでもデジタル技術の活用を促している。 今後も市民にとって医療・教育・子育て等の行政サービスなど利便性向上のためにデジタル技術の活用が進むものと思うが、導入のコスト、ランニングコスト、情報管理の人材確保の問題もあると考える。 一方で、デジタル技術を活用しない市民、高齢者などに対する相談窓口もいっそう重要であると思われる。 新年度予算の中では、どのような展開があるのか伺う。
		2. 介護サービスについて	(1) 事業所運営の支援について	①2024年の介護事業所の倒産件数が過去最多を更新した。介護報酬が長期に渡り低くすえ置かれてきたことによる経営難に加え、介護労働者の賃金が全産業の平均賃金より10%低いこともあり、人手不足に拍車がかかっていることが原因とされている。 その中で「在宅介護の要」と言われる訪問介護事業所の倒産が最多の47%を占めている。 介護報酬は国による公定価格によって定められているが、国の来年度予算総額は過去最高となる中、政策的経費の内訳でみると社会保障関係費は物価の上昇に追いつかず、実質マイナスと云われている。 特に介護分野の予算は低調となっていることは大きな問題であると思う。 またその上で、本市では介護事業所をめぐる事業環境に問題はないのか、新年度において、介護サービス需要の対応にふさわしい介護事業所運営の体制が確保されているのか、人材確保や物価高騰対策をどのように新年度予算に反映されているのか伺う。
		3. 農政について	(1) 国民の主食コメの安定供給について	①2024年産のコメの相対取引価格について、1月全銘柄平均で昨年同月より69%上昇し、過去最高値をつけたと国は発表した。 「主食のコメを高くて食べられない」と云われるほどの異常事態を招いている。 どうして米価が急騰したのかについて、渡辺好明新潟食料大学名誉学長は、新聞インタビューで「国はコメを余らせてはいけなと生産抑制策をとってきた。 需要に対しギリギリの生産になっているため、ちょっとしたきっかけで極端な高値になる」と指摘し、「農水省は2018年に国としての生産数量目標の設定をやめた以降も、国として毎年の受給見通しを示し、各県は、それをベースに生産の目安を設定するという取り組みであり、実質的な減反のようなことで、こうしたやり方もやめるべき」としている。

(次ページへ続く)

発言 の 順序	会派名 (質問者)	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
2	日本共産党議員団 (宮路 敏裕)	3. 農政について	(1) 国民の主食 コメの安定 供給について	コメどころ新潟県は食料資源の水田を有効に使うことで、産地地域は維持、発展していく。 経営規模に応じた補助金で農業者を直接支えることが大事」とも発言されている。 蒲原平野に位置しコメの一大産地である燕市とっても、農業従事者に展望を開き、主食の安定供給を担う意義のある意見と思うが、所見を伺う。 また、2025年産米について一定の増産という報道があるが、新年度予算の中で、農業振興として生産や販売の拡大、インターネットを活用した販路開拓、農業者の後継者や担い手育成、また、農業資材や燃料費等の高騰・高止まりに対する支援等どう図るのか、新年度の展開を伺う。
3	新風みらい (田澤 信行)	1. 歳出予算 の配分について	(1) 目的別予算 配分について	①目的別「歳出予算」の主な増減額は明記されているが、区分単位での予算を見たときに総合的なバランス（構成比）や妥当性をどのように判断したのか伺う。
			(2) 商工費区分 の予算について	①商工費区分の予算が 15 億 2,068 万円、実質的な予算構成比では、3.4%となる。商工費区分の事業は、地元企業を直接支援する予算となり、地元企業の期待感を与える予算が必要だと思いますが、そのような観点で事業を検討したのか伺う。
			(3) D X 推進 事業について	①D X 推進事業は、予算総額でいくらになるのか伺う。（予算構成比、対前年度予算の増減額など） ②D X 推進事業を予算化するにあたり従来行っていた事業に影響を与えないのか伺う。 ③D X 推進事業をどのように評価するのか伺う。（インフラ整備だけでなく、その後の効果について）
		2. 住民の声 の反映について	(1) 住民の声 の反映について	①住民の意見や要望は予算にどのように反映されているのか伺う。具体的な事例についても教えてほしい。